

〈AXIES研究データマネジメント部会合同トラック〉
学術機関における研究データ管理の進め方
名古屋大学における研究データ管理体制の整備

RDM推進のためのURAミッションとは 〈名古屋大学の場合〉

2019年5月29日

名古屋大学

学術研究・産学官連携推進本部URA 吉田 千穂

はじめに

- RDMは、学内におけるステークホルダーの抽出と組織体制づくりが不可欠である。

➡ 学術研究支援や産学官連携を推進するURAは、ステークホルダーであると認識。

➡ しかし、組織としての議論は始まっていない。

※本発表は吉田の個人的見解であり、学術研究・産学官連携推進本部としての決定事項ではありません。

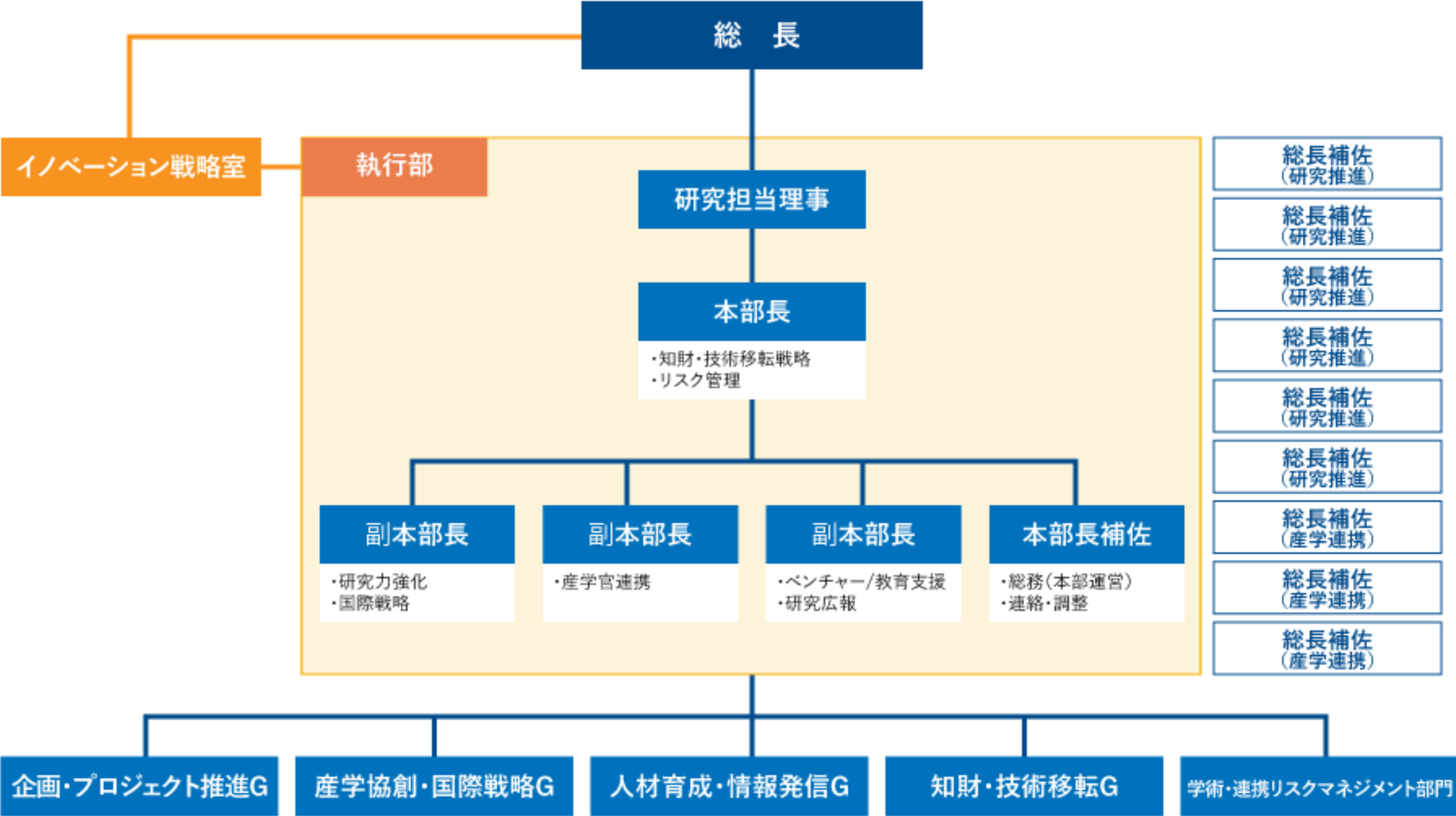
名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部について

基礎研究から産学官連携に至るまでを一貫した体制で推進
(H25～)

事務局研究協力部との連携のもと、
国内最大規模のURA
(約50名) を配置

学内の**大型研究開発プロジェクト**と密接な連携

全学的な研究者支援の更なる充実と「**組織対組織**」連携を目指す。



競争的資金獲得支援、産学官連携推進、IR、人材育成、研究広報、知的財産活動支援と、 学術研究活動に不可欠な支援を一元的に提供しています

企画・プロジェクト推進グループ

- ・ 学術・産連活動企画・運営
- ・ 研究力の調査・分析
- ・ 拠点型研究プロジェクト形成
- ・ 理系・文系分野別支援
- ・ 外国人研究者支援
- ・ 科研費を含む競争的資金獲得支援
- ・ 大型プロジェクト支援 (COI, GaN)
- 【評価企画担当】
- ・ IR分析、戦略提案

人材育成・情報発信グループ

- ・アントレプレナーシップ教育
- ・大学発ベンチャー支援
- ・URA の教育主導 (スキル認定含む)
- ・若手PI 育成
- ・博士課程教育推進機構連携
- 【研究広報ユニット】
- ・研究成果の情報発信
- ・アウトリーチ活動
- ・Web 管理

産学協創・国際戦略グループ

- ・共同研究戦略企画
- ・共同研究マネジメント
- ・包括連携契約支援
- ・指定共同研究推進
- ・OI推進室連携
- ・地域中小企業連携
- ・研究支援DB の運用・管理
- 【国際戦略ユニット】
- ・国際産学連携、外国契約支援
- ・欧米事情リサーチ

知財・技術移転グループ

- ・知的財産の創出支援・出願・権利取得
- ・知財権のライセンス・譲渡などの技術移転
- ・大学発ベンチャー創出支援
- ・共同研究契約書のレビュー

学術・連携リスクマネジメント部門

- ・安全保障輸出管理
- ・利益相反マネジメント
- ・共同研究契約等支援

名古屋大学URAの役割

- ①研究助成機関に関する情報収集→名大ポリシー検討へ
- ②研究助成申請に関するDMP作成支援
- ③ライセンス支援

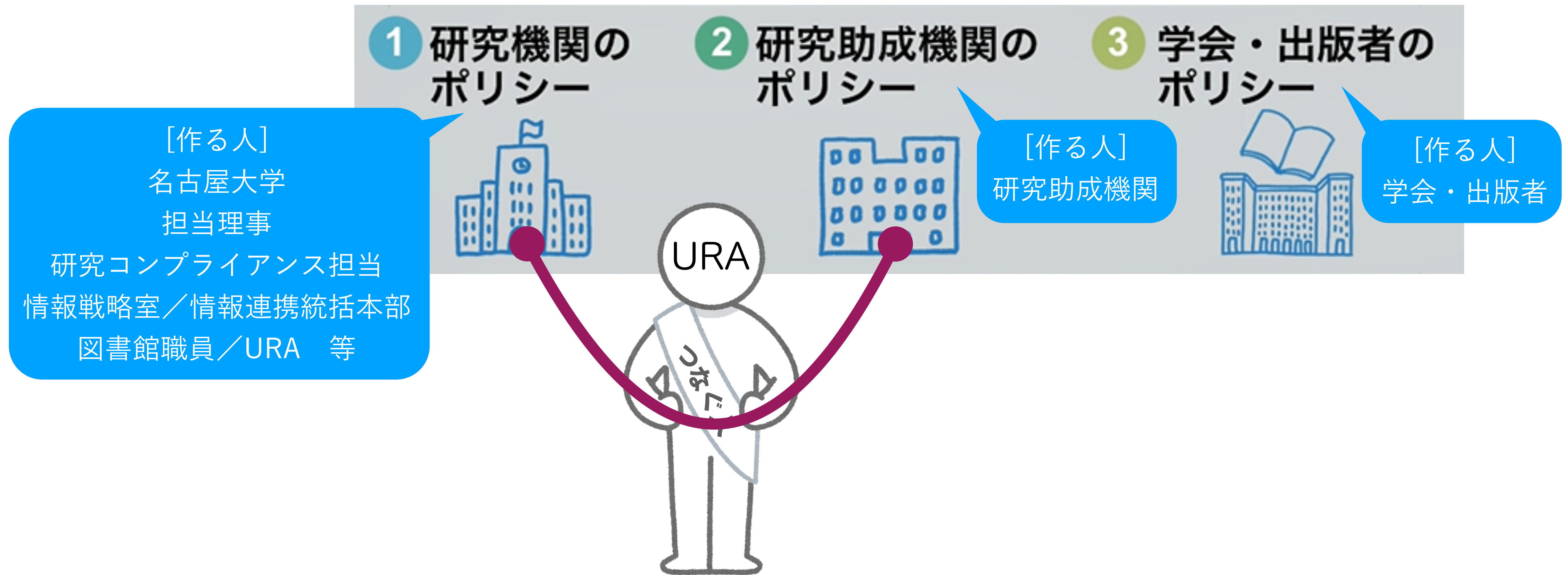


出典：「第2章 研究データ管理サービスの設計」P.4 2.2.1 研究データ管理サービスの全体像

https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/index.php?active_action=repository_view_main_item_detail&page_id=46&block_id=79&item_id=128&item_no=1

名古屋大学URAの役割①

研究助成機関のポリシーを把握し、研究機関ポリシー策定のための情報提供を行う



出典：「第2章 研究データ管理サービスの設計」P.5 2.2.2 研究前の支援

https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/index.php?active_action=repository_view_main_item_detail&page_id=46&block_id=79&item_id=128&item_no=1

名古屋大学URAの役割②

研究助成申請時において、研究者へDMP作成支援を行う

- AMED
- JST「戦略的創造研究推進事業」CREST、さがけ、ERATO、ACCEL

適用対象等

※詳細は、各事業の公募情報を参照のこと。

対 象

研究開発途上もしくは研究開発終了時に研究データを整理・体系化(データベース化)する必要がある事業(課題)

適 用

平成30年5月1日以降にAMEDが新規公募する事業

提出方法

AMEDが指定

※詳細は、各事業の公募情報を参照のこと。

記載事項

- 事業年度
- 事業名
- 研究開発課題名
- 研究から産出されるデータ及びデータ群の総称
- 研究開発データの説明
- データサイエンティストの所属・氏名等 ※複数名を記載可
- リポジトリ(保存場所)
- その他必要事項(各事業の特性等に応じ設定)

代表機

複数機関が関与
場合は、プロジェ
参加者間の合意

データベース
(研究開発終了時まで
作成予定のもの)

制度の詳細

CREST

さがけ
PRESTO

ERATO

データマネジメント実施方針(DMP記載内容)

- (1) 管理対象となる研究データの保存・管理方針
 - － アカデミッククラウドの活用を推奨
- (2) 研究データの公開・非公開に係る方針
 - － 非公開の場合は理由の記載を求める
- (3) 公開可能な研究データの提供方法・体制
 - － 既存の公的データベースや学協会で整備しているリポジトリの活用を推奨
- (4) 公開研究データの想定利用用途
- (5) 公開研究データの利活用促進に向けた取り組み
- (6) その他特記事項

「研究者の皆様へ」データマネジメントプランの提出について(平成30年3月20日)

国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED) <https://www.amed.go.jp/content/000030140.pdf>

「JSTにおけるオープンサイエンスへの対応(DMP導入試行をはじめとして)」2017年2月14日

科学技術振興機構 知識基盤情報部 小賀坂 康志氏による講演資料

https://www.nii.ac.jp/sparc/event/2016/pdf/20170214_4.pdf

名古屋大学URAの役割③

RDMにおける著作権、知的財産権等における活動支援を行う→新たな産学共創へ

5.5.1 研究データと著作権

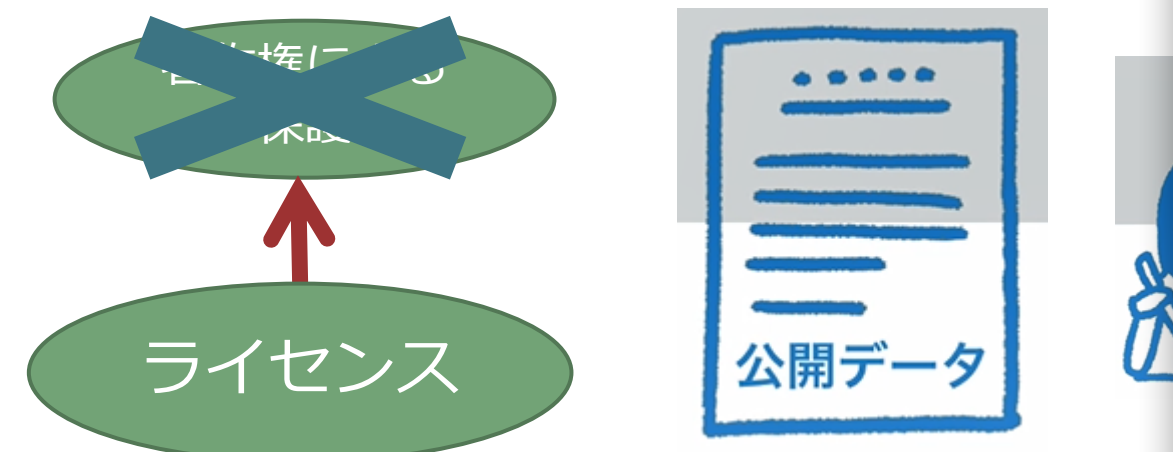
著作物 = 「思想又は感情を創作的に表現したものであつて、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するもの」
(著作権法第2条)

判例：
「データ自体は、仮にその集積行為に多
及び人員を費やしたものであったとして
保護の対象となるわけではない」
(名古屋地判平成12年10月18日。事
http://www.courts.go.jp/app/files/hanrei_jp)

➡ **単なる客観的事実やデータは著作物と**
ただし、一定の考えのもとデータを整理・分析し
が認められる場合も（地図、データベースの著作

5.5.2 ライセンシング

ライセンシング（利用許諾） = コンテンツの利用許諾の条
件（ライセンス）を明示すること



**研究データの公開時に、メタデータに
記載しておくことで、一律な利用が可**

※ライセンスが付与されていなくても、その他の知的財産
可能性がある点に留意

5.5.3 ライセンス付与の原則とガイドライン

FAIRデータ原則

Findable : 発見可能性、 **A**ccessible : アクセス可能性、
Interoperable : 相互運用可能性、 **R**e-usable : 再利用可能性 <https://doi.org/10.18908/a.2018041901>

研究データの法的相互運用性：指針と実施のガイドライン

- 指針1：研究データへの合法的なアクセスと再利用を容易にすること
 - 指針2：データに対する権利と責任を決定すること
 - 指針3：法的な利益のバランスをとること
 - 指針4：権利を透明かつ明確に示すこと
 - 指針5：研究データの権利の調和をはかること
 - 指針6：研究データに適切な帰属とクレジットをつけること
- RDA-CODATA Legal Interoperability Interest Group, Legal
Interoperability of Research Data: Principles and Implementation
Guidelines(2016) <https://doi.org/10.5281/zenodo.162241>

クリエイティブ・コモンズとオープンサイエンス に関するファクトシート

- オープン・サイエンスを取り巻く共通の懸念事項に対する質問と回答、およびクリエイティ
ブ・コモンズ・ライセンスの下でのデータ・ライセンスについてのファクトシート
<https://doi.org/10.5281/zenodo.840652>
- 参考：クリエイティブ・コモンズ&オープンアクセスに関するよくある質問 <https://doi.org/10.5281/zenodo.841086>

➡ **加えて、データ管理計画書の記述があれば、記述に沿った形で、付与すべきライセンス
を案内**

今後の課題

- RDMについて、学術研究・産学官連携推進本部内における理解を深める。
 - 会議でのオーソライズ
 - URAに対する説明会の実施
- RDM主幹組織である情報戦略室や図書館と、組織としての連携を強化するとともに、役割分担の明確化を図る。

ご清聴ありがとうございました。